

第1回 連携部会（医療関係）

はじめに

地域自立支援協議会定例会議における相談支援事業所の事業報告や地域の課題等から関係機関との連携・ネットワークの構築のため「障がい者の医療に関するバックアップ体制作り」に向け、具体的な解決策を協議してきた。

1 部会実施日

- 第1回 平成22年10月12日（火）
- 第2回 平成22年11月 9日（火）
- 第3回 平成22年12月14日（火）
- 第4回 平成23年 1月11日（火）
- 第5回 平成23年 2月 8日（火）
- 第6回 平成23年 3月 8日（火）

2 検討課題

各機関の現状と課題について情報交換を行った。

- (1) 医療機関との連携、ネットワークの構築について
 - ア コロニー中央病院
 - イ 在宅療養支援診療所
- (2) ヘルパー等の人材育成のための研修・勉強会について

3 検討内容

- (1) 医療機関との連携、ネットワークの構築について

ア コロニー中央病院

医療的ケアが必要な障がい児・者の支援にあたり、「コロニー中央病院は欠かせない存在であり、今後の動向を把握する必要があるのではないか」という意見が出た。そのため、この部会への参加依頼を行い、第4回から委員として参加してもらうよう整えた。

その結果、コロニー中央病院の現状と今後の方向性について、話を聞くことができるようになった。今後も部会に参加していただくことで、連携強化に努めていきたい。

イ 在宅療養支援診療所

24時間体制で往診や訪問看護を実施する在宅療養支援診療所が春日井市内に25箇所あることがわかった。また、肢体不自由児・者父母の会や育成会より聴き取りを行った結果、個別対応で診療をしてくれている開業医もいるということがわかった。

そのことを踏まえ、医師や訪問看護との繋がりを強化し、個別対応できる人材を増やすため、在宅療養支援診療所の利用状況について実態把握を行う方向性となった。

しかし、「実態把握をしたことで医療機関と障がい児・者の繋がりができるわけではない」という意見から個々に医療機関へ受診し、カルテや受診歴を作っていくことが大切ではないかという話しとなった。

(2) ヘルパー等の人材育成のための研修・勉強会について

医療的ケアについて現在、厚生労働省からの通知のみで行っている状態であり、法律化されていない。ヘルパーが医療的ケアを行うことは、ヘルパー個人と利用者の直接契約になり、事故が起きたときのリスクが大きいことが挙げられる。

さらに、在宅ケアを行うにあたり、制度や春日井市内の障がい児・者の医療の現状を知らない支援者が多いのではないかとわかった。

ヘルパー等の人材育成のため、県の研修事業と照らし合わせながらも春日井市独自で、研修会や勉強会を行っていくことも必要と感じている。

4 今後の取り組み

来年度の取り組みとして、個人個人や支援者が医療機関や訪問看護ステーションを知ってもらうために春日井市内の医療マップを作成する。掲載内容や周知については、今後検討していくことになる。また、人材育成や障がい理解のために春日井市独自で、研修会や勉強の取り組みも検討していく方向となる。

在宅療養支援診療所の医師へ協力・連携体制を整えると共に、地域における医療関係者へ障がいの理解に繋げていく必要がある。それに加え、医療機関のバックアップ体制や人材育成を行うことで医療の必要な障がい児・者が、福祉サービスを円滑に利用できるように広げていきたいと考えている。

そうすることで、医療的ケアの必要な障がい児・者が、地域で安心して生活を送るための資源となるのではないかと考える。